

会 告 目 次

会告目次	1
PSJ カレンダー	2
第 39 回通常総会の開催について	5
論文誌特集「新世代データベース技術：インターネット・マルチメディア・ モバイルを中心として」論文募集	5
研究発表会開催通知	6
第 85 回グラフィクスと CAD 研究会	6
第 82 回マルチメディア通信と分散処理研究会	6
平成 9 年度研究会登録について	9
情報処理学会第 55 回全国大会（会場：福岡工業大学）講演・デモセッションの募集について	10
情報処理学会第 55 回全国大会一般講演申込書	15
情報処理学会第 55 回全国大会デモセッション申込書	16
情報処理学会第 55 回全国大会講演ならびにデモセッション参加費送金連絡票	17
情報処理学会第 55 回全国大会併設国際シンポジウム」論文募集	18
Pacific Graphics '97	19
資料会告について	20
当学会の出版物の著作権の取扱いについて	21
論文誌査読委員	22
情報処理学会「書籍」申込書	23
会員の皆様へのお知らせ・お願い	24
会費・購読費の預金口座（銀行・金庫）自動振替のご利用について	25
預金口座振替依頼書	26
本部だより	27
催 報	9
し 材 募 集	29
議 案 内	14, 28, 30

IPSJ JOURNAL

IPSJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 63 回情報システム研究会	東洋大	平成 9 年 3 月 19 日 (水)	当日のみ	38-2 15p	研
第 16 回オーディオビジュアル複合情報処理 研究会	NTT 沖縄	3 月 19 日 (水)	当日のみ	38-2 15p	研
第 118 回自然言語処理研究会	長崎大	3 月 21 日 (金) ～ 22 日 (土)	当日のみ	38-2 16p	研
第 12 回数理モデル化と問題解決研究会	川崎製鉄	3 月 24 日 (月)	当日のみ	38-2 17p	研
第 104 回コンピュータビジョンとイメージメ ディア研究会	東大	3 月 27 日 (木)	当日のみ	38-2 17p	研
第 12 回プログラミング研究会	NTT 武蔵野研究セ ンタ	3 月 28 日 (金)	当日のみ	38-2 17p	研
第 6 回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	3 月 28 日 (金)	当日のみ	38-2 18p	研
連続セミナー 96 電子商取引の現状と将来	工学院大	3 月 28 日 (金)	定員になり次第	38-2 38p	事
第 85 回グラフィクスと CAD 研究会	情報処理学会	4 月 18 日 (金)	当日のみ	38-3 6p	研
第 82 回マルチメディア通信と分散処理研究 会	東北大	4 月 24 日 (木) ～ 25 日 (金)	当日のみ	38-3 6p	研
第 39 回通常総会	ニューサテライト ホテル芝浦	5 月 20 日 (火)	—	38-3 5p	総
平成 9 年電気・情報関連学会連合大会	日本学術会議講堂	8 月 22 日 (金)	—	38-6 掲載予定	事
情報処理学会第 55 回全国大会	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	当日可	38-3 10p	事

【国 際 会 議】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	照 会 先	掲載 ページ	担当
★ The Third International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS 97)	ベルリン (ドイツ)	4 月 9 日 (水) ～ 11 日 (金)	事務局	37-12 26p	国

【論文募集】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム '97	北大	5月7日(水) ～8日(木)	3月31日(月)	38-2 42p	北
グラフィクスとCADシンポジウム	早大	6月4日(水) ～5日(木)	—	38-2 39p	研
オブジェクト指向'97シンポジウム	タイム24ビル	7月2日(水) ～4日(金)	—	38-1 22p	研
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ	ニセコいこいの村	7月2日(水) ～4日(金)	3月28日(金)	38-2 40p	研
★第27回安全工学シンポジウム講演	日本学会会議講堂	7月3日(木) ～4日(金)	—	38-1 23p	編
DAシンポジウム'97	ラフォーレ琵琶湖	7月10日(木) ～12日(土)	—	38-1 24p	研
情報処理学会第55回全国大会併設国際シンポジウム	福岡工大	9月24日(水) ～26日(金)	5月1日(木)	38-3 18p	事
情報処理学会第55回全国大会	福岡工大	9月24日(水) ～26日(金)	6月13日(金)	38-3 10p	事
論文誌特集号 「マルチメディア分散・協調コンピューティング」	—	—	5月12日(月)	37-10 24p	編
論文誌特集号 「次世代ヒューマンインタフェース・インタラクション」	—	—	6月30日(月)	38-1 21p	編
論文誌特集号 「新世代データベース技術：インターネット・マルチメディア・モバイルを中心として」	—	—	8月29日(金)	38-3 5p	編

【支部】

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
⚡東海支部 講習会「3D共有環境の構築—運用の実際、可能性」	豊橋技科大	平成9年 3月17日(金)	定員になり次第	38-2 43p	海
関西支部 平成8年度第2回ソフトウェア研究会	関西情報センター	3月19日(水)	—	38-2 44p	西
東北支部 支部総会	東北大	4月23日(水)	—	38-3 27p	東
九州支部 支部総会	九工大	5月7日(水)	—	38-3 27p	九
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム'97	北大	5月7日(水) ～8日(木)	—	38-3 27p	北
北海道支部 支部総会	北大	5月8日(木)	—	38-3 27p	北

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
四国支部 支部総会	NTT プラザ高松	5 月 9 日 (金)	—	38-3 27p	四
中国支部 支部総会	中国電力	5 月 16 日 (金)	—	38-3 27p	中
東海支部 支部総会	愛知厚生年金会館	5 月 23 日 (金)	—	38-3 27p	海

注 1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注 2) 研究会の発表申込締切は開催日の 90 日前です。年間予定表および研究会発表申込書は 2, 4, 8 月号に掲載されています。

注 3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

第 39 回通常総会の開催について

第 39 回通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に 4 月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	平成 9 年 5 月 20 日 (火) 16 : 00 ~ 17 : 40
会 場	ニューサテライトホテル芝浦 鳳凰の間 (情報処理学会事務局隣)
総会次第	1. 会長挨拶 2. 平成 8 年度事業報告および決算報告 3. 平成 9 年度事業計画および予算審議 4. 会費滞納会員の取扱いについて 5. 名誉会員の推挙について 6. 平成 8 年度功績賞の発表と表彰 7. 平成 8 年度論文賞の発表と表彰 8. 平成 8 年度 Best Author 賞の発表と表彰 9. 平成 8 年度坂井記念特別賞の発表と表彰 10. 平成 9 年度役員改選について 11. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ (無料) を行います。会員が一堂に会し、直接お話しができる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

論文誌特集「新世代データベース技術： インターネット・マルチメディア・モバイルを中心として」 論文募集

情報処理学会論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において、下記の要領にて、“新世代データベース技術—インターネット・マルチメディア・モバイルを中心として—”をテーマに特集号の発刊を予定しております。

分散処理システム、ネットワーク・システム、マルチメディア・システム、モバイルコンピューティング・システムなどの新しい計算機システムの普及が、データベースシステムの利用形態に多大な影響を与えるとともに、それらの計算機システムを対象とした新しい世代のデータベースシステム技術の研究開発が重要となっています。これらの新しいシステム環境においても、データベースシステムは、最も主要な構成要素の 1 つであり、その高機能化および高性能化が不可欠となっています。

この分野における中心的かつ重要な研究対象項目として、(1) インターネットにおける情報検索、(2) マルチメディアデータベース、(3) データマイニング、(4) 時空間データベース、(5) モバイル・データベースをあげることができます。これらの項目は、前述の新しい計算機システム環境に対応して発生した新しい時代のデータベースシステム技術として位置付けられるものであり、それらに関する最先端の研究内容を集約し、新しい世代のデータベース技術に関する研究領域として発展させていくことが大変重要であると考えられます。

これらに関連する研究者の方々を対象として、論文を広く募集いたします。奮ってご投稿ください。

投 稿 要 領

論文の執筆要領	“情報処理学会論文誌”原稿執筆案内によります。論文投稿規約は、平成 9 年 1 月号に掲載されています。
査読手続き	通常の論文誌投稿論文と同一です。
投稿締切	平成 9 年 8 月 29 日 (金)
	投稿論文には、「新世代データベース技術」特集と朱書してください。
特集号予定	平成 10 年春頃

研究発表会開催通知

(平成 9 年 4 月 18 日～4 月 30 日)

◆第 85 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 大野義夫, 幹事: 青野雅樹, 小堀研一, 斉藤 剛)

日 時 平成 9 年 4 月 18 日 (金) 13 : 30 ~ 16 : 00

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR (山手線, 京浜東北線) : 田町 (東口) 下車, 徒歩 7 分. または地下鉄 (浅草線, 三田線) : 三田下車, 徒歩 10 分. Tel(03)5484-3535]

議 題

(1) 退化形状や非剛体をも統一的に表現できる幾何モデルの開発

望月 剛 (新潟大), 速水康晴 (日本電子計算機), 越川和忠 (電総研), 山本正信 (新潟大)

(2) 量子化法泉ベクトルによる三次元高速ブラウジング

長沢幹男 (日立)

(3) あいまいな三面図の概略理解手法

印南智仁, 川崎順一, 李 江洪, 西原清一 (筑波大)

(4) C-mail=E-mail+Comic Chat

倉持陽子, 藤代一成, 市川哲彦 (お茶の水女子大)

(5) 思考プロセスを考慮した Web 上の CG 学習支援システムの試作と改善

秋山直人, 池戸 孝, 船戸康徳, 坂本忠明 (山梨大)

◆第 82 回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 33 件)

(主査: 滝沢 誠, 幹事: 小花貞夫, 玉置政一, 東野輝夫)

日 時 平成 9 年 4 月 24 日 (木) 9 : 00 ~ 17 : 30

25 日 (金) 9 : 00 ~ 16 : 45

会 場 東北大学 電気通信研究所 (片平キャンパス)

[仙台市青葉区片平 2-1-1. JR : 仙台下車, 徒歩 20 分. Tel(022)212-1439 (白鳥研究室)]

議 題

4 月 24 日 (木)

[9 : 00 ~ 12 : 00] ●セッション 1A

(1) 拡張現実空間の構築にむけて

菅原研次 (千葉工大), 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

(2) ADIPS フレームワークを用いたエージェント指向システムの実装

藤田 茂 (千葉工大), 嵯峨 毅 (サイエンティア), 菅原研次 (千葉工大), 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

(3) やわらかいネットワークの開発とテレビ会議への応用

唐橋拓史, 勝倉 真 (東北大), 菅沼拓夫, 菅原研次 (千葉工大), 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

(4) 拡張現実空間概念に基づくオフィスワーク支援環境の試作

今野 将, 原 英樹, 藤田 茂, 菅原研次 (千葉工大), 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

(5) Design and Evaluation of Wide-area Group Communication Protocols- International Experiment

立川敬行, 桧垣博章, 滝沢 誠 (東京電機大), Mario Gerla (UCLA)

Mike Liu (OSU), S. M. Deen (Keel University), 白鳥則郎 (東北大)

(6) エージェント指向に基づいたやわらかい遠隔会議システムの設計および評価

野村尚史, 知念 正, 柴田義孝 (東洋大), 白鳥則郎 (東北大)

[13 : 00 ~ 15 : 30] ●セッション 2A

(7) 招待講演: 可視化教材とネットワーク利用一試行と課題

都倉信樹 (阪大)

(8) 遠隔ゼミ支援システム RemoteWadaman の開発と適用

吉田 壱, 宗森 純, 首藤 勝 (阪大)

(9) 発想支援グループウェア郡元の機能実現とその評価

由井園隆也, 宗森 純, 水野和生, 長澤庸二 (鹿児島大)

[16 : 00 ~ 17 : 30] ●セッション 3A

(10) 心的状態に基づくエージェントコミュニケーションとその機構

加藤貴司, 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

(11) ビジュアルプログラミングによる 3 次元オブジェクトの動作スクリプトの設計と実装

杉山達彦, 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

(12) 命題論理に基づく要求仕様の詳細化とその支援

福沢尚司, 郷健太郎, 高橋 薫, 白鳥則郎 (東北大)

[16 : 00 ~ 17 : 30] ●セッション 3B

- (13) Rate Control in Group Communication 井口 昭人, 立川敬行, 滝沢 誠 (東京電機大)
 (14) Extended Upgrading Protocol for Flexible Networks 桧垣博章, 酒井基樹, 滝沢 誠 (東京電機大)
 (15) やわらかいマルチメディア遠隔講義支援システムの設計および評価 高坂幸春, 野村尚央, 柴田義孝 (東洋大)
 4月25日(金)

[9:00~12:00] ●セッション4A

- (16) 統合パッケージ利用開発におけるリモート JAD の適用 片岡信弘, 小泉寿男, 岡 哲也 (三菱電機)
 (17) 遠隔協同授業における映像操作系の改良とその実験結果 太細 孝, 小泉寿男 (三菱電機), 守屋誠司 (山形大)
 (18) Similarity Searching in High-Dimensional Image Space Katherine Curtis, 中川純一, 谷口展郎, 山室雅司 (NTT)

- (19) HD マルチメディア配送システム—高機能なストリーム配送システムの開発— 谷 英明 (デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)
 (20) 3D リアルタイムコラボレーションシステム Cyber OpenNet におけるオブジェクト管理の検討 寺島美昭, 宮崎一哉, 佐藤浩司, 前田慎司, 中川路哲男 (三菱電機)

[9:00~12:00] ●セッション4B

- (21) 仕様記述言語 LOTOS からハードウェア記述言語 VHDL への変換 花屋雅貴 (静岡大)
 (22) 複製付きタブルスペース通信の管理方法と実装 川口 昇, 佐藤文明, 水野忠則 (静岡大)
 (23) IP ネットワークにおける通信品質の検証 日下貴義, 木幡康弘, 松田栄之, 菅野政孝 (NTT データ)
 (24) IPv6 時代に向けての TCP プロトコルの改善に関する考察 村山公保, 山口 英 (奈良先端大)
 (25) ワイヤレス環境における選択的マルチメディア通信方式の実装 太田 賢, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
 (26) ユーザの満足度を考慮したマルチメディアトラフィックマネジメント方式—その2 飛鷹洋一, 勅使河原可海 (創価大)

[13:00~15:00] ●セッション5A

- (27) グループウェアのためのプロトコルについて 白川洋充 (近畿大)
 (28) グループウェアとしての留守番ビデオ電話の設計と評価 田中 充, 勅使河原可海 (創価大)
 (29) リアルタイムグループウェアにおける途中参加方式についての一考察 五郎丸秀樹, 関野公彦, 久保田創一, 佐藤 栄 (NTT)
 (30) リアルタイムグループウェアにおけるイベント順序制御の一考察 徳永博之, 関野公彦, 久保田創一, 佐藤 栄 (NTT)

[15:15~16:45] ●セッション5B

- (31) WWW情報検索を支援するバーチャル図書館システム—システムコンセプトと用途別検索方式— 石川浩通, 谷田 望, 徳永寿郎, 田中 聡 (三菱電機)
 (32) インターネット上の譲渡可能な電子通貨システムの提案 三輪信介 (北陸先端大)
 (33) モデル化による WWW 応答特性に関する一検討 竹内大五郎, 小野里好邦 (群馬大), 清水英夫, 木村博茂 (東京電力)

* 25日研究会終了後に懇親会を予定しております。奮ってご参加ください。

研究会 論文募集

※表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名（登壇者に○）、略称所属、概要（50字程度）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel., Fax., e-mail）を明記の上、各研究会照会先まで e-mail または Fax で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛（e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534）に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

▶システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

日 程 平成9年6月5日(木)・6日(金)

会 場 白浜山荘 (和歌山県西牟婁郡)

議 題 テーマ：新時代に向けたコンピュータシステム／オペレーティングシステム、および一般

※表申込締切 平成9年3月28日(金)

照会先 福田 晃(奈良先端大) e-mail:fukuda@is.aist-nara.ac.jp Fax(07437)2-5329

*電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会)と共催。

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

日 程 平成9年6月5日(木)・6日(金)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

発表申込締切 平成9年3月31日(月)

照会先 伊藤裕康(富士通研) e-mail:hitoh@flab.fujitsu.co.jp Tel(044)754-2614 Fax(044)754-2581

◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

日 時 平成9年6月6日(金) 13:00~17:00(予定)

会 場 早稲田大学理工学部 55号館会議室

議 題 テーマ: MPEG2 応用, およびマルチメディア一般

発表申込締切 平成9年3月28日(金)

照会先 一之瀬 進(NTT) e-mail:ichinose@nttvd.hil.ntt.co.jp Tel(0468)59-2800 Fax(0468)59-2806

◆計算機アーキテクチャ研究会

日 程 平成9年6月下旬

会 場 東北大

発表申込締切 平成9年4月4日(金) *できるだけe-mail でお願ひします。

照会先 木村康則(富士通研) e-mail:ykimura@flab.fujitsu.co.jp Tel(044)754-2665 Fax(044)754-2664

◆音楽情報科学研究会

夏のシンポジウム 1997 (SS97)

毎年恒例の合宿形式「夏のシンポジウム(SS97)」を開催します。今年も研究発表の時間をたっぷりとり、企画ものや「深夜の討論会」も健在ですので、皆様奮って発表申し込みをお願いいたします。

日 時 平成9年7月20日(日) 13:30~21日(月) 15:00

会 場 京都府立ゼミナールハウス(京都府京北町)

議 題 一般研究発表(トータルで7時間/10件程度を予定)

ワークショップ「なぜ作曲にコンピュータを使うのか(仮題)」

発表申込締切 平成9年4月28日(月) *できるだけe-mail でお願ひします。

照会先 中村滋延(京都芸術短大) e-mail:nakmra50@mbox.kyoto-inet.or.jp Tel&Fax(075)791-7176

Tel&Fax(0726)81-4905(自宅) * Tel&Fax でのお申し込みは自宅の方が確実です。

*なお、上記シンポジウムに先立ち19日午後から20日昼まで、チュートリアル「MIDI プログラミングとコンピュータ音楽の歴史」を開催します(有料)。お問い合わせ等は平田(NTT 基礎研究所 e-mail:hirata@nefertiti.brl.ntt.co.jp)まで。また http://www.brl.ntt.co.jp/people/hirata/ss97_tut.html にてチュートリアル参加者募集のより詳しい案内がご覧になれます。

宿泊はあらかじめ申し込みが必要です。最新の情報やさらに詳しい情報については、研究会ホームページ(<http://www.hamamatsu-pc.ac.jp:80/SIGMUS>)を参照いただくか、上記の研究発表申込先(照会先)までお問い合わせください。

◆グラフィクスとCAD 研究会

夏の集中研究集会

画像に基づく CG — Image Based Rendering の現状と課題

画像処理(画像理解, パターン認識, CV など)とコンピュータグラフィクスはいろいろな意味で密接な関係があり、これまでお互いの研究成果・情報を利用し合いながら研究が進んできたと言えるでしょう。そこで本年の集中研究集会では特集テーマとして Image Based Rendering を指向し、画像に基づく CG をテーマとして選定いたしました。関連する課題の例を以下に示しますが、これらに限定せず、広い分野を対象とした活発な討論の場を提供したいと考えています。

●画像の幾何変形、濃度値構造の変形による画像合成(morphing, 知的符号化・復号化, 関心領域強調など)

●画像の特徴抽出・変換に基づく画像合成(絵画風画像など)

●画像の認識・理解に基づくモデリング, 3次元画像合成(図面からのCG, CT 医用画像の知的表示など)

●画像の認識に基づく仮想現実システム(CV ポインティングデバイスなど)

なお、本研究会では、一部の発表に「ニューカマーズセッション」を取り入れます。すなわち、通例6ページとしている原稿ページ数を標準4ページとし、短めの発表時間、長めの討論時間を設定します。卒研学生、大学院学生、入社直後

の社員等を想定し、新進気鋭の（自称を含む）若手研究者による萌芽的研究をいち早く学会に公表する機会を与えることを目的とするものです。希望者は申込時に「ニューカマーズセッション希望」と明記してください。

日程 平成9年8月21日（木）13：00～22日（金）12：00（発表件数により終了時刻は変更されます）
会場 湯の山温泉 寿亭（〒510-12 三重県三重郡菰野町湯の山温泉。Tel(0593)92-2131）
（宿泊費 16,000 円。1泊2食（夕食は懇親会）、税等を含む。※家族同伴歓迎、以下の申込先まで）
交通手段、観光情報などを公開しています。以下の URL を参照してください。

<http://www.ecip.nagoya-u.ac.jp/GCAD/summer.html>

発表申込締切 平成9年5月31日（土）*できるだけ e-mail でお願いします。

照会/申込先 岡田 稔（名大） e-mail:okada@ecip.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3904 Fax(052)789-3901

平成9年度研究会登録について

平成9年度は、新設（1研究会）を含む27研究会により、研究発表会（計128回）、シンポジウム等（計21件）、小規模国際会議（1件）が予定され、領域制のもとますます活発に研究活動がすすめられています。

年間を通して研究会にご参加の場合には、ぜひ登録をお勧めします。登録者には該当研究報告の無料配布のほか、研究会主催行事等での割引などもあります。会員の皆様のより多くのご登録、ご参加をお待ちしております。

平成9年度から新規に研究会登録を希望される方は前号（Vol.38 No.2 IPSJ KAIKOKU P.27）添付の平成9年度研究会登録申込書（個人新規専用）に必要事項をご記入の上、研究会係宛お送りください。（Fax.可）

雑 報

○大川情報通信基金 平成9年度研究助成の募集

高度情報社会の発展と振興のため、情報・通信に関する調査・研究を助成しています。対象者・応募方法など詳細は下記に問合せ下さい。

応募締切 平成9年3月20日（木）必着

照会先 〒163-02 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 27F （株）CSK 内 （財）大川情報通信基金事務局
Tel(03)5321-3958 Fax(03)5321-3959

情報処理学会第 55 回全国大会（会場：福岡工業大学）
大会テーマ「アジアからの情報発信を目指して」
講演・デモセッションの募集について

第 55 回全国大会では上記大会テーマのもとにプログラムを構成いたします。本大会では一般講演のほかに「デモセッション」を広く募集いたしますので、下記事項をご熟読の上、お申し込みください。なお、併設で国際シンポジウムを開催する予定です。

日 程 平成 9 年 9 月 24 日（水）～ 9 月 26 日（金）
会 場 福岡工業大学（福岡県福岡市東区和白東）

A. 講演申込

講演資格 資格不問

- 申込方法**
1. 本号会告掲載の「一般講演申込書」または「デモセッション申込書」ならびに「送金連絡票」に必要な事項を記入して郵送でお申し込みください。（Fax は不可）
 2. インターネットでお申込も可能です。この場合は、本学会ホームページ（<http://www.ipsj.or.jp>）をご参照ください。
 3. 連続講演または複数講演申込を希望する場合には内訳書を添付（書式自由）し、その旨明記の上まとめて提出してください。この場合インターネットでの申込は受け付けません。

- 講演内容**
1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 2. 発表は日本語または英語とします。

講演参加費（1 件につき）

1. 登壇発表者が正会員：9,450 円 学生会員：5,250 円（本学会ならびに電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの方もしくは本会入会申請中の方）
2. 1. に該当しない方
一般：19,950 円、学生：9,450 円
講演申込締切後、会費のお支払状況を含めて講演資格の審査を行いますのでご注意ください。

講演参加費の納入

1. 講演参加費は、講演申込時持参、郵便・銀行振込または請求書到着後平成 9 年 9 月 17 日（水）までに納入してください。納入先は送金連絡票をご参照ください。
なお、講演参加費は、講演のキャンセルをされても返金いたしませんのでご注意ください。
2. 請求書は 6 月下旬の発送となります。

講演申込締切 平成 9 年 6 月 13 日（金）必着

講演番号 申込受付終了後、該当分野キーワードによりプログラム編成を行い講演番号を決定します。講演番号決定後は発表セッション等の変更はできません。論文の該当分野キーワードは十分ご確認のうえご記入ください。

講演番号等の通知 申込受付後、講演番号・論文執筆要領・参加章引換券・学術情報センター用データシートを 6 月下旬に発送します。

B. 論文原稿

- 論文の提出**
1. 論文は日本語または英語で 2 部提出してください。
 2. 論文は 1 ページないし 2 ページとします。
 3. 学術情報センター用データシートは記入要領に従い記入の上論文と一緒に提出してください。なお、データシートの著作権は学術情報センターと学会との共有です。
 4. 講演論文集ならびにその CD-ROM に収録された論文の著作権は本学会に帰属します。
 5. 論文原稿提出後の訂正は一切取り扱いません。よく推敲して提出してください。
 6. 原稿の返却はいたしません。

論文の採否 講演論文の採否は大会プログラム編成委員会が決定します。採択しないものはたとえば次のような場合です。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）。

3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお勧めします）。

発表論文の別刷 作成しません。

講演論文提出締切 平成9年7月24日（木）必着

C. 講演者への注意事項

講演者心得

1. 講演の始まる前に、講演者受付で出席の確認を受け、自分の講演論文が掲載されている論文集（CD-ROM 付）（無料）、大会プログラム（無料）および参加章を受け取ってください。
2. 直前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機してください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします。講演中でも持ち時間が切れれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。
6. 講演のキャンセルは、会期前は本学会事業係まで Fax または電子メールにて、大会会期中は総受付（電話番号は追って会告します）まで口頭で、すみやかにご連絡ください。

AV 機器の使用 OHP は全講演者に対し準備いたします。これ以外の機器はお持ち込みください。

D. デモセッションについて

研究分野として、コンピュータの機器を直接利用して、聴講者に表示したほうがわかりやすい研究素材が存在すると考えられます。たとえば、GUI (Graphical User Interface) の研究、UI (User Interface) の研究、ワードプロセッサの研究、形態に関する研究、PDA、モバイルなど。また、今回から学術的な内容にこだわらず商業ベースのものも広く募集いたします。

発表形式：デモは1件の申込に対して1日単位で行えます。ポスターセッション形式で他のデモとパラレルに行います。

講演発表（一般講演の15分）はできませんが、デモの内容を1頁だけ論文集に掲載します。講演発表をしたい場合には、デモセッション申込とは別に一般講演の申込を行ってください。

デモセッション参加費：一般講演と同様です。（3日間通してデモを行いたい場合の参加費は、講演参加費×3日間となります）

デモセッションの開催日：下記の日程から選択となります。

平成9年9月24日（水）9：00～17：00

9月25日（木）9：00～17：00

9月26日（金）9：00～17：00

（9月23日に機器の搬入、デモのリハーサルを予定）

その他デモセッションにかかる費用：機器の搬入／搬出費、設置費、現地調整費、展示の装飾費等は講演者、発表者負担とします。

学会が支援する設備：デモブース、電源、通信回線（電話回線）を予定しております。デモセッションを申し込まれる場合は所要の設備条件、スペース、レイアウト等（書式自由）を申込書の所定欄にご記入ください。不明点、詳細は照会先にご相談ください。

注意事項：全国大会の現地環境、設備等の量的な制約がありますので、申込みをいただいても対応できない場合はご容赦願います。デモセッションのプログラムは申込みをまとめた後に、提示いたします。

E. 講演申込先

（電子メール）<http://www.ipsj.or.jp> をご参照ください。

（郵送）（社）情報処理学会 事業係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

（持参）JR 山手・京浜東北線田町駅芝浦側（東口）下車、徒歩5分、三和銀行右隣芝浦前川ビル 7F

受付時間 9:00～17:15

F. その他

大会プログラム 学会誌8月号（平成9年8月15日発行）ならびに本学会ホームページ（<http://www.ipsj.or.jp>）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

- 表彰** 1. 全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名を大会優秀賞として表彰します。また大会奨励賞として情報処理に関連する学術・技術の奨励のため、学部卒 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名を表彰します。
2. 大会優秀賞・大会奨励賞の対象者は、本学会個人会員に限られます。

照会先 (社) 情報処理学会 事業係

e-mail:jigyo@ipsj.or.jp http://www.ipsj.or.jp

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

F. 該当分野キーワード

講演申込書の該当分野キーワードの欄には、次のように記入してください。

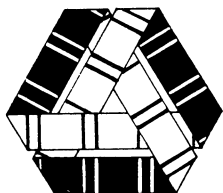
例：アーキテクチャ（大項目）の設計自動化（中項目）のレイアウト合成（小項目）の場合は、「1405」と書いてください。（該当分野キーワード参照）

大項目	中項目	小項目
1 アーキテクチャ	1 計算機アーキテクチャ	01 計算機システムアーキテクチャ, 02 アーキテクチャ全般（プロセッサ, 相互結合網, メモリ, 磁気ディスク, I/O を含む）, 03 フォールトトレランス, リアルタイムシステム, 04 ソフトウェアシステム（OS, コンパイラ, ツール）とのインタフェース, 05 並列処理アーキテクチャ, 06 並列処理ハードウェア, 07 VLSI アーキテクチャ, 08 専用プロセッサ（DSP など）, 99 その他（ ）
	2 システムソフトウェアとオペレーティングシステム	01 システム性能評価, 02 オペレーティングシステム全般（プロセス管理, メモリ管理, ファイルシステムを含む）, 03 OS 構成法, 04 並列/分散 OS, 05 ネットワーク実現技術, 06 ネットワークプロトコル, 07 サーバ実現技術, 08 リアルタイムシステム, 09 言語処理系, 10 ネットワークセキュリティ, 11 モバイルコンピューティング, 99 その他（ ）
	3 ハイパフォーマンスコンピューティング	01 計算科学（数値計算）, 02 シミュレーションの理論と実際（モデル化, アルゴリズム, 品質保証）, 03 高速・高性能システム（超並列 WS）, 04 利用技術/性能評価と提言, 05 計算と計算機を結ぶ技術（可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバッグツール等）, 99 その他（ ）
	4 設計自動化	01 設計自動化技術（集積回路, 装置システム等）, 02 エレクトロニクス用 DA/CAD, 03 HDL, 04 論理合成, 05 レイアウト合成, 06 形式的検証, 07 テスト, 99 その他（ ）
2 ソフトウェア科学・工学	1 アルゴリズム	01 グラフやネットワークに関するアルゴリズム, 02 計算幾何学と計算代数学, 03 暗号系や認証のアルゴリズム, 04 確率アルゴリズムと近似アルゴリズム, 05 分散・並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム, 06 データ構造, 07 オートマトン・計算複雑度理論, 08 オンラインアルゴリズム, 09 文字列処理, 10 アルゴリズムの応用と実用, 99 その他（ ）
	2 数理モデル化と問題解決	01 数理モデル化全般と解法, 02 オペレーションズリサーチ, 03 グラフ理論やネットワークフロー理論, 04 逆問題, 05 モデル化の教育, 06 各種モデルの応用, 07 定式化, 99 その他（ ）
	3 ソフトウェア工学	01 要求定義, 設計手法, 02 形式的仕様, 03 開発管理, 04 メトリクス, 05 検査, 検証, 06 ソフトウェア開発支援環境や CASE, 07 標準化, 08 再利用, プログラム合成, 09 人的要因, 教育, 10 ソフトウェアプロセス, 11 知識処理技術のソフトウェア工学への応用, 12 品質, 13 保守, 14 リバースエンジニアリング, 15 プロトタイピング, 99 その他（ ）
	4 プログラミング	01 プログラミング言語の基本概念・設計原理・実装技術, 02 各種プログラミング, 03 プログラミング方法論（ビジュアルプログラミング等）, プログラミング環境（処理系, ツール等）, 04 プログラミング技術（ガーベジコレクション等）, 05 並列化コンパイラ, 並列処理言語, 並列デバッグ, 06 分散オブジェクト指向プログラミング（Java 等）, 99 その他（ ）
3 人工知能と認知科学	1 人工知能	01 知識表現, 02 推論・探索, 03 学習, 04 認知モデル, 05 ニューラルネット, 06 知識ベース, 07 オントロジ, 08 知識交換言語, 09 エキスパートシステム, 10 分散・協調 AI, 11 ファジー理論, 12 パターン・自然言語の理解, 13 知的インタフェース, 14 AI アーキテクチャ, 15 複雑系, 16 人工生命, 17 生体情報処理, 18 遺伝的アルゴリズム, 19 知能メカニズム関連研究と応用システム, 20 エージェントモデル, 99 その他（ ）
	2 自然言語処理	01 言語理論, 02 言語行動, 03 言語資料・統計, 04 辞書（レキシコン）, 05 言語コーパス, 06 形態素解析, 07 統語解析, 08 意味解析, 09 文脈解析, 10 対話（システム）, 11 談話理解・語用論, 12 知識表現, 13 機械翻訳, 14 自然言語処理ソフトウェア, 15 自然言語インタフェース, 16 校正支援, 99 その他（ ）

大項目	中項目	小項目
	3 音声言語情報処理	01 音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成), 02 音声言語処理システム (ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳), 03 言語モデルと音声言語コーパス, 04 音声インタフェースと音声応用, 99 その他 ()
	4 視覚情報処理	01 視覚認識, 02 視覚・映像メディア処理, 03 画像処理, 04 画像理解, 05 物体認識, 06 文字・図形の処理と認識, 07 3次元復元, 08 ステレオ視, 09 運動解析, 10 距離解析, 11 色彩解析, 12 ロボットビジョン, 13 画像処理プロセス, 14 画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像効果の生成, 15 立体テレビ, 16 人物画像処理, 99 その他 ()
	5 音楽情報科学	01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 02 音楽信号処理, 03 AIと音楽, 04 音楽の認知・知覚・感性情報, 05 音楽情報処理システム, 06 音楽学や音楽芸術と計算機技術, 99 その他 ()
4 データベースとメディア	1 データベース	01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計・システム分析設計, 04 一貫性制約・アクティブDB, 05 DBMS, 06 質問処理, 07 トランザクション管理・OLTP, 08 物理的記憶構造, 09 信頼性・障害時回復・安全性, 10 超並列DB, 11 DB専用ハードウェア (RAID など), 12 分散型DB・マルチDB, 13 データウェアハウス, 14 情報資源管理とリポジトリ, 15 オブジェクト指向DB, 16 マルチメディアDB (テキストDB・画像DB・動画画像DB・VOD など), 17 履歴DB・版管理, 18 地理DB・空間データ管理, 19 オフィス情報システム, 20 グループウェアDB, 21 エンジニアリングDB, 22 サイエンティフィックDB・遺伝子DB, 23 データベース発掘・知識発見, 24 モバイルDB, 25 DB高度応用, 99 その他 ()
	2 情報検索	01 情報検索技術, 02 シソーラス, 03 ハイパertext・ハイパメディア, 04 インターネットDB (エージェントなど), 05 電子図書館, 06 全文検索, 07 ペンチマーク, 99 その他 ()
	3 メディアと情報	01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 情報概念体系, 03 辞書・用語, 04 大量情報の組織化, 05 情報の知識化, 06 マルチメディアコンテンツ創作・表現・編集, 07 マルチメディアコンテンツ検索・流通・管理, 08 メディア論, 09 構造化記述 (SGML, HTML, VRML など), 99 その他 ()
5 ネットワーク	1 マルチメディア通信と分散処理	01 コンピュータネットワーク, 02 高速通信, 03 分散コンピューティング, 04 マルチメディア情報通信, 05 知的通信, 06 プロトコル, 07 分散協調, 08 ネットワークセキュリティ, 09 電子メール, 10 ネットワークアーキテクチャ, 99 その他 ()
	2 分散システム運用	01 コンピュータネットワーク運用・管理, 02 ダウンサイジング (クライアント/サーバ), 03 ライセンシング, 04 セキュリティ, 05 教育・技術移転, 99 その他 ()
	3 マルチメディア符号化	01 高品質・低ビットレート画像, 02 音声信号処理, 03 符号化システム, 04 マルチメディアの国際標準化 (MPEG, DAVIC 等), 99 その他 ()
5 インタフェース	1 ヒューマンインタフェース	01 計算機システムのインタフェース, 02 マルチメディア/マルチモーダルインタフェース, 03 コミュニケーションとインタフェース, 04 協調作業のインタフェース, 05 文書処理のインタフェース, 06 認知情報処理, 07 インタフェースデザイン技法, 08 インタフェース評価法, 09 知的ヒューマンインタフェース, 11 感性情報処理, 12 ヒューマンファクタ, 13 障害者補助, 99 その他 ()
	2 グループウェア	01 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学), 02 グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育), 03 グループワークインフラ (ワークフロー, グループ通信), 04 分散オフィス, 05 マルチユーザのインタフェース, 06 電子会議, 電子掲示板, 07 事例, 99 その他 ()
	3 グラフィクスとCAD	01 形状モデリング, 02 CGシステム, 03 CG用モデリング (モーションキャプチャリングやフラクタル等), 04 レンダリング, 05 CG応用 (アニメーション, イラスト等), 06 CAD/CAMシステム, 99 その他 ()
	4 仮想現実感	01 センサ (磁気, 超音波, 生体信号等), 02 感覚提示技術 (視覚, 聴覚, 力覚等), 03 仮想環境とシミュレーション, 04 仮想物体の操作, 05 コミュニケーション技術, 06 臨場感通信とテレプレゼンス, 07 AR (強化された現実), 08 応用事例, 99 その他 ()
7 コンピュータと人間社会	1 情報システム	01 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用, 02 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 03 情報システムと人間・組織・社会との相互関連, 04 情報システムのマネジメント (情報システム監査, 危機管理など), 05 産業分野への応用, 06 公共分野 (社会) への応用, 07 企業経営と情報システム, 08 新しい情報技術 (インターネット, モバイルなど) の活用, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目
	2 コンピュータと教育・学習	01 情報教育, 02 CAI・教育工学, 03 カリキュラム, 04 教育システム, 05 教材開発支援ツール, 06 コンピュータリテラシ, 07 アミューズメント, 99 その他 ()
	3 コンピュータと社会	01 人文・社会科学における情報処理, 02 博物館・美術館における情報処理, 03 マルチメディアシステムの応用, 04 知的所有権, 05 情報の社会的側面, 06 情報倫理, 07 防災と情報, 99 その他 ()
	4 医療分野への応用	01 基礎医学, 02 臨床医学, 03 社会医学, 04 医療情報システム, 05 歯学, 06 薬学, 99 その他 ()
	5 企業活動への応用	01 電子商取引, 02 CALS, 03 コンカレントエンジニアリング, 04 システムインテグレーション, 05 生産スケジューリング, 06 意思決定支援システム, 99 その他 ()
	6 標準化	01 規格・標準化, 99 その他 ()
8 その他		

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (*:本年既掲載分, **:昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載されている場合は除く。) ○:本会主催・共催 ◆:本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

【国際会議】

◆2nd Online Workshop on Soft Computing on Engineering Design & Manufacturing(WSC2)(7001)

1. 1997 年 6 月 23 日 (月) ~ 27 日 (金) 2. インターネット上 3. 古橋 (名大) Tel.(052)789-2792
e-mail: furuhashi@nuce.nagoya-u.ac.jp

3rd IJCAI Workshop(7002)

1. 1997 年 8 月 24 日 (日) 2. 名古屋市 3. Gautam BISWAS e-mail: biswas@vuse.vanderbilt.edu,
http://www.vuse.vanderbilt.edu/~biswas

◆The 8th International Workshop on Algorithmic Learning Theory(ALT97)(7003)

1. 1997 年 10 月 6 日 (月) ~ 8 日 (水) 2. 仙台東急ホテル (仙台市青葉区) 3. 事務局 (東北大丸岡研内)
alt97@maruoka.ecei.tohoku.ac.jp

◆The 15th World Congress of the International Measurement Confederation(IMEKO XV World Congress)(7004)

1. 1999 年 6 月 13 日 (日) ~ 18 日 (金) 2. アジア太平洋トレードセンター (大阪市住之江区) 3. (社) 計測自動制御学会
Tel.(03)3814-4121

◆Pacific Graphics '97(7005)

1. 1997 年 10 月 13 日 (月) ~ 16 (木) 2. ソウル, 韓国 3. Pr. Yeong Gil Shin e-mail: pg97@og.lab.snu.ac.kr
http://cgilab.snu.ac.kr/pg97/

情報処理学会第 55 回全国大会
デモセッション申込書

受 番	付 号
講 番	演 号

掲 載 ページ	
------------	--

第 55 回全国大会に下記によりデモセッション申込をいたします。

標 題注 1)					
フリガナ注 1)	申込者				
著者名					
所属名					
該当分野 注 2) キーワード	(1)	(2)	申込者 会員番号		
申込者申込区分	・ 本会 (正会員・学生会員・申請中 (/ 付)) ・ 他会員 (正会員・学生会員/電子情報通信・電気・映像情報メディア・照明)・非会員・非会員学生				
デモ希望日 (複数可)	9/24, 9/25, 9/26	持ち込み予定の機 器(すべて持ち込みが原則)			
回線設備 使用の有無	有・無 回線種別: インターネット/ISDN/電話線		所要電源 容量・設備面積	() KVA	() m ²

注 1) 学会誌および会場配布用の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。

注 2) 本会告の該当分野キーワードを参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。

注 3) デモは、1 日について参加費 1 人分となりますので、3 日間の場合はその 3 倍となります。

論文要旨 (150 字程度)	
関連講演題目 (関連する一般講演のある場合お書きください。)	
デモ内容の要約原稿 (1 ページ)	用意する 用意しない

デモセッション用書類送付宛名

(楷書でハッキリ記入してください)

送付先 _____

機関・部課名 _____

講演者氏名 _____ 殿

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

e-mail _____

情報処理学会第 55 回全国大会
講演ならびにデモセッション参加費送金連絡票

受付 番号	
----------	--

- この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。
- 1. 1 件につき、5 学会正会員は 9,450 円、学生会員は 5,250 円、一般非会員は 19,950 円、学生非会員は 9,450 円です。
注) 座長、プログラム委員および現地実行委員は無料です。
 - 2. 講演不採択の場合は、講演参加費は返却しますが、申込後講演キャンセルの場合は返却はしません。
 - 3. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方はすべてこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
 - 4. やむをえず銀行振込の場合は、所定の銀行口座 [東京三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会口座 No.0003774] にご送金ください。ご送金は講演発表者名でお願いします。
 - 5. 2 件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。(共著者名の氏名は記入しないでください。)
 - 6. 支払い件数が多く、下の票に講演者名が書ききれない場合は別紙 (書式自由) を添付してください。
 - 7. 講演参加費には消費税が含まれています。
 - 8. 国際シンポジウムに参加される場合は、上記 1. の参加費のほかにプロシーディング代 8,000 円が加算されますが、すでに一般セッションかデモセッションに申し込んでおり、国際シンポジウムで発表されない場合はプロシーディング代のみとなります。

	5 学会会員	5 学会学生会員	非会員	非会員学生
講演者氏名	○	○	○	○
	○	○	○	○
	○	○	○	○
小 計	円	円	円	円
合計金額	円			

必要書類：請求書 通, 納品書 通, 見積書 通, 領収書 通

*必要のない方は空欄のままで結構です。

送金方法： ☐ 郵便振替 (00150-4-83484) * 該当箇所にレ印を付けてください。(専用振込用紙)
☐ 銀行振込 東京三菱銀行
(専用銀行口座：東京三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会 普通口座 No.0003774)
送金月日： 銀行 支店・ 郵便局から
月 日 送金人名義：

通信欄：

(楷書でハッキリ記入してください)

講演参加費
取扱者連絡先 〒

機関・部課名

フリガナ
氏 名

Tel. (ext.) Fax.

IPSJ KAIKOKU

「情報処理学会第 55 回全国大会併設国際シンポジウム」論文募集
**IPSJ International Symposium on Next-Generation Information Systems
and Technologies**

第 55 回全国大会の大会テーマ「アジアからの情報発信を目指して」にちなんで、大会の中で 2 トラックを国際シンポジウムにいたします。論文は英語で査読の上採録が決定され、会議録は正式出版物として World Scientific 社より刊行されます。論文は情報処理学会の各研究会のカバーする範囲でできるだけチャレンジングなものを求めています。

研究会は現在 3 つの領域に分けられていますので、各領域に対応するプログラム副委員長に論文を送付してください。論文は 5000 語までの通常論文と 2500 語までのショート論文の 2 種あり、通常論文として投稿された論文がショート論文として採用されることもあります。連絡は電子メールで行いますので、論文には著者のメールアドレスをお書き下さい。

日 程 1997 年 9 月 24 日～26 日

会 場 福岡工業大学（福岡県福岡市東区和白東）

プログラム副委員長

コンピュータサイエンス領域	増永良文	masunaga@ulis.ac.jp
情報環境領域	河岡 司	tkawaoka@mai.doshisha.ac.jp
フロンティア領域	安西祐一郎	anzai@aa.cs.keio.ac.jp

<コンピュータサイエンス領域>

データベースシステム、ソフトウェア工学、計算機アーキテクチャ、システムソフトウェアとオペレーティング・システム、設計自動化、ハイパフォーマンスコンピューティング、プログラミング、アルゴリズム、数値モデル化と問題解決

<情報環境領域>

マルチメディア通信と分散処理、ヒューマンインタフェース、グラフィックスと CAD、情報システム、情報学基礎、情報メディア、オーディオビジュアル複合情報処理、グループウェア、分散システム運用技術、デジタル・ドキュメント、モバイルコンピューティング、システム評価

<フロンティア領域>

自然言語処理、知能と複雑系、コンピュータビジョンとイメージメディア、コンピュータと教育、人文科学とコンピュータ、音楽情報科学、音声言語情報処理、電子化知的財産・社会基盤

- 応募方法**
- (1) 各領域に対応するプログラム副委員長に論文を送付してください。論文は 5000 語までの通常論文と 2500 語までのショート論文の 2 種あり、通常論文として投稿された論文がショート論文として採用されることもあります。
 - (2) 電子メール投稿と通常郵便投稿が可能です。後者の場合コピー 4 部が必要です。
 - (3) 連絡は電子メールで行いますので、論文には著者のメールアドレスをお書きください。

スケジュール 平成 9 年 5 月 1 日 論文締切
 6 月 1 日 論文受理通知
 6 月 16 日 最終版締切

参 加 費 講演者は講演参加費のほかに会議録代（8,000 円）が必要となります。

照 会 先 大会プログラム委員長 上林彌彦 yahiko@kuis.kyoto-u.ac.jp
 * 全体的な質問は上林までご連絡下さい。

Conference Co-Chairs:

C. M. Park (POSTECH)
G. R. Oh (SERI)

Program Co-Chairs :

Y. G. Shin (SNU)
J. K. Hahn (George Washington U.)

Program Committee :

N. Badler (U. of Pennsylvania)
C. Bajaj (Purdue U.)
A. Bruderlin (ATR)
H. Chiyokura (Keio U.)
B. K. Choi (KAIST)
T. S. Chua (Nat'l U. of Singapore)
K. Y. Chwa (KAIST)
D. Cohen-or (Tel Aviv U.)
J. Cremer (U. of Iowa)
R. Earnshaw (U. of Leeds)
G. Elber (Technicon)
M. Goebel (GMD)
L. J. Guibas (Stanford U.)
C. Hoffmann (Purdue U.)
I. Ihm (Sogang U.)
A. E. Kaufman (SUNY)
M. S. Kim (POSTECH)
H. Ko (SNU)
T. L. Kunii (U. of Aizu)
K. Lee (SNU)
M. W. Lee (U. of Suwon)
N. Max (U. of California & LLNL)
E. Nakamae (Hiroshima Pref. U.)
T. Nishita (Fukuyama U.)
G. Nielson (Arizona State U.)
M. Ouhyoung (Nat'l Taiwan U.)
N. M. Patrikalakis (MIT)
B. Ribarsky (Georgia Tech)
L. J. Rosenblum (Naval Res. Lab.)
J. R. Rossignac (Georgia Tech.)
H. B. Said (USM)
O. Schwarzkopf (POSTECH)
S. Y. Shin (KAIST)
Y. Shinagawa (U. of Tokyo)
Y. Suenaga (NTT)
T. Takahashi (NTT)
D. Terzopoulos (U. of Toronto)
D. Thalmann (EPFL)
N. Magnenat Thalmann (U. Geneva)
W. Wang (U. of Hongkong)
K. Y. Won (KAIST)
T. C. Woo (U. of Washington)
B. Wyvill (Calgary U.)
G. Wyvill (U. of Otago)
S. S. N. Yang (Nat'l Tsing Hua U.)
D. Zeltzer (MIT)

Organizing Committee :

S. H. Han (KAIST)
M. R. Jung (Soongsil U.)
H. D. Ko (KIST)
U. Koh (Ewha U.)
C. H. Kim (Korea U.)
A. H. Lee (Korea U.)
H. R. Lee (SAIT)
H. C. Lee (Hongik U.)
K. H. Yoon (Chung Ang U.)

Pacific Graphics '97

Seoul, Korea, October 13-16, 1997

Organized by : KCGS, CGS, SNU

In Cooperation with (tentative) :

KISS, IPSJ, ACM SIGGRAPH, IEEE

Computer Society Technical Committee on Computer Graphics

Pacific Graphics is an international, yearly conference on the state of the art computer graphics and applications. The conference focuses on computer graphics applications and methods across the areas of information, communication, science, engineering, art, and commerce. The past four conferences were held in Korea (1993), China (1994), Korea (1995) and Taiwan (1996). The fifth Pacific Graphics conference will be held at the new convention center in Seoul National University.

CALL FOR PAPERS

Papers presenting original research in computer graphics and applications are being sought. Suggested topics include (but are not limited to) :

- Computer Animation
- Real Time Graphics
- Virtual Reality
- Multimedia Modeling
- Geometric Modeling
- Synthetic Worlds
- Computational Geometry
- Interaction Techniques
- Visualization
- Graphics Hardware
- Rendering Techniques
- Graphics Standards

Information for Authors: Original unpublished papers of up to 18 pages are invited. Send five copies of single-spaced, 12 point manuscripts written in English. The first part of the paper should include a title, an abstract, keywords and phrases, and author's information (name, title, affiliation, address, phone and fax number, e-mail address). A signed statement that "when accepted, one of the authors will present the paper at the Pacific Graphics'97 conference" should be enclosed. Accepted papers will appear in the '97 Proceedings book. In addition, expanded versions of high quality papers will also be published in a special issue of "The Journal of Visualization and Computer Animation."

Important Dates:

April 19, 1997	Submission deadline
June 12, 1997	Notification of acceptance
July 17, 1997	Camera-ready paper due

Address Submission and Information either to:

Prof. Yeong Gil Shin
Dept. of Computer Science
Seoul National University
Shinrim-dong, Kwanak-ku
Seoul 151-742 Korea

Tel) +82-2-880-6757
Fax) +82-2-871-4912
E-mail) pg97@cglab.snu.ac.kr

Prof. James Kwangjune Hahn
Dept. of Electrical Engineering &
Computer Science
The George Washington University
Washington, DC 20052 U.S.A.

Tel) +1-202-994-5920
Fax) +1-202-994-0227
E-mail) hahn@seas.gwu.edu

<http://cglab.snu.ac.kr/pg97/>

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です．

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金
論 文 募 集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会等の論文募集・参加者募集に限る．	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 50,000 円
人 材 募 集	国公立教育機関，国公立研究機関，賛助会員の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関，国立研究機関) 20,000 円 (賛助会員 (企業)) 30,000 円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則として B5 判カメラレディとします．B5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください．なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います．なお，フロッピーディスクまたは e-mail でも受け付けますので，ご相談ください．

人 材 募 集：求人側の必要事項を明記し，e-mail または FAX，郵送にてお送りください．

4. 申込期限

毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください．

6. 掲載申込先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 有料会告係

e-mail:editj@ipsj.or.jp Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

当学会の出版物の著作権の取扱いについて

情報処理学会発行の学会誌「情報処理」、情報処理学会論文誌、情報処理学会研究報告、全国大会講演論文集、シンポジウム論文集および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の著作権の取扱いについては、次のとおりとなっておりますのでご了承ください。

1. 著作権の帰属

- (1) 標記学会出版物に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議の上措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
 - ・依頼論文等であって、その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので、著作権の本会への移転帰属に關し当該法人等の了解が得られない場合。
 - ・特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

2. 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが、著作者人格権は著者に帰属する。ただし、著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し、本学会はこれに異議申立て、もしくは妨げることをしない。この場合著者は本学会に申し出を行い、また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること。
- (2) 本学会は論文等の複製をおこなうことができる。ただし、この場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合、本学会は理事会において審議し、適当と認めたものについては要望に応ずることができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって、第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告の上、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

3. 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

論文誌査読委員

相沢 輝昭 浅井 清 芦原 評 安部 憲 雨宮 広 有木 真人 五十嵐 康雄 池原 悟 磯道 義典 伊藤 潔 伊藤 英則 井上 克郎 今泉 貴史 岩田 彰 上杉 利明 浮田 輝彦 打浪 清一 宇津宮 孝一 梅山 伸二 大駒 誠一 大須賀 昭彦 大西 淳 大森 健児 岡田 康行 奥田 亮輔 小倉 敏彦 小倉 健治 小柳 滋 開原 成允 笠原 博徳 梶原 勝樹 金谷 健一 金田 悠紀夫 亀田 壽夫 河合 利幸 川崎 淳 木澤 誠一 木村 康則 久野 靖 栗原 定見 郡司 隆男 小嶋 弘行 近藤 邦雄 佐伯 元司 櫛原 康文 坂村 健 佐藤 和洋 佐藤 誠 佐藤 充 嶋津 好生 下辻 成佳 白井 良明 菅原 研次 杉藤 芳雄 杉山 健司 鈴木 正幸 曾和 幸容 高藤 政雄 高橋 義造 竹内 章	相田 仁 麻田 治男 畠坂 恒夫 甘田 早苗 荒野 高志 有澤 博 五十嵐 善英 池田 八洲彦 板野 肯三 伊藤 紘二 稲垣 耕作 井上 謙蔵 井宮 謙 岩根 雅彦 上原 邦昭 牛島 和夫 内平 直志 梅尾 博司 江原 暁 大澤 暁 大須賀 昭彦 岡崎 彰夫 岡田 義邦 奥乃 博 小澤 一雅 小柳 令美 小柳 義夫 嘉数 侑昇 櫻尾 次郎 野村 裕文 金田 康正 加納 弘 唐津 治夢 河口 英二 川戸 信明 北橋 忠宏 木下 恂 清水 康 久保 秀士 樽松 明 小池 英樹 小原 和博 近谷 英昭 酒井 博敬 坂下 善彦 桜井 貴文 佐藤 健 佐藤 政生 澤井 秀文 島津 明 下村 三男 白石 博 菅原 秀明 杉原 厚吉 鈴木 健司 春原 猛 岡 忠雄 高橋 修 瀧 和男 郁雄	秋山 泰 浅田 稔 東 基衛 天野 真家 荒牧 重登 飯島 純一 池田 克夫 石浦 岐佐 井田 哲雄 伊藤 貴康 稲垣 康善 猪原 茂和 岩崎 英哉 岩間 俊亮 植村 照夫 牛島 宮訓 梅谷 征雄 大岩 元裕 大沢 和雄 大竹 義芳 岡崎 龍明 岡本 学 奥村 浩一郎 落木 秀俊 大野 宗徳 角田 博保 柏山 正守 加藤 和彦 金子 俊一 上林 憲行 唐津 修 川口 喜三男 川西 宏 喜連川 優 木下 俊之 久世 和資 久保田 光一 黒川 利明 小暮 孝次郎 後藤 厚宏 坂上 勝彦 坂田 真人 佐々木 建昭 佐藤 興二 佐藤 雅彦 柴山 潔 清水 謙多郎 尺長 健 新藤 久和 杉浦 洋 杉原 正顯 鈴木 千里 関 浩之 高木 茂 高橋 直久 滝沢 誠 竹下 亨	阿草 清滋 浅野 孝夫 麻生 稔 天野 英晴 有川 節夫 五十嵐 智 池田 尚志 石崎 俊 出澤 正徳 伊藤 秀昭 乾 伸雄 今井 浩 岩瀬 正 岩元 莞二 魚田 勝臣 宇田川 佳久 宇都宮 直樹 梅村 護 大久保 英嗣 大島 正毅 大槻 説乎 大蒔 和仁 岡田 謙一 小川 克彦 小倉 武 尾内 紀夫 小柳 育郎 海尻 賢二 寛 捷彦 鍛治 勝三 金崎 克己 金子 正秀 上村 務 川合 慧 川越 恭二 菅 隆志 絹川 博之 木村 泉 杵沢 淳之助 倉田 政彦 黒沢 由明 越川 和忠 小山 照夫 斉藤 康己 坂内 正夫 坂部 俊樹 佐々 政孝 佐藤 匡正 佐藤 洋一郎 島崎 真昭 清水 俊幸 首藤 公昭 末吉 敏則 杉江 重雄 杉本 則久 鈴木 光久 曾根 光利 高木 延匡 高橋 正人 武田 保孝	竹林 洋一 田中 二衛 谷口 秀吉 田丸 啓利 茶園 昭省 土田 賢集 手塚 元章 寺島 喜伸 徳永 健伸 戸沢 義夫 富安信 一郎 鳥居 達生 中川 正樹 中登 志之 中村 克彦 長島 重夫 並木 美太郎 西田 隆夫 西原 清一 沼 昌宏 野寺 隆 橋田 温 長谷川 秀彦 浜田 穂積 原田 賢一 馬場 敬信 東野 輝夫 日比野 靖 平木 敬 廣瀬 通孝 福井 義成 福村 晃夫 藤田 米春 藤原 秀雄 古川 康一 星野 力 本多 弘樹 増山 繁 松下山 公一 三浦 孝夫 溝口 文雄 美濃 導彦 宮崎 収兒 宮本 衛市 宗森 純 村上 昌己 元田 浩 矢島 敬二 安村 通見 山崎 重一郎 山本 彰 山本 昌弘 横川 三津夫 吉田 和幸 吉田 年雄 吉村 賢治 脇田 建 渡辺 敏正 和田 健一 M.J.	竹谷 誠 田中 正次 田中 康仁 田中 倫一郎 田中 進一 田中所 進 田中 司 田中 鶴岡 寺井 秀一 寺井 松昭 遠山 元道 徳山 五郎 富田 悦次 外山 芳人 土居 範久 中澤 修 中村 史朗 中村 守男 永田 崇 南谷 友 西村 眞一郎 沼尾 正行 野村 邦彦 野村 昭洋 橋本 弘 速水 謙 原田 耕一 馬場 健 正田 輝雄 平岡 孝 平澤 太郎 廣田 豊彦 福江 潔也 房岡 璋 藤中 惠 二木 厚吉 古川 哲也 前田 隆 野田 治弘 松田 晃一 松山 隆司 三浦 大亮 溝口 理一郎 宮内 ナミ 宮崎 正俊 宮本 俊介 村井 眞一 村島 定行 元吉 文男 矢島 脩三 谷内 正彦 山崎 進 山本 和彦 湯浅 太一 横田 将生 吉田 敬一 吉田 紀彦 吉本 富市 渡辺 勝正 渡辺 正信 和田 耕一 F.M. キッシュ	和田 勳 田中 輝雄 谷口 健一 田淵 謹也 近山 俊史 築山 征城 鶴保 信義 寺島 義敏 東条 雄洋 徳田 所 富田 眞理雄 鳥居 昌宏 中川 俊一 中田 裕志 中前 修二 中榮 八郎 長尾 真 生田 章夫 西関 隆夫 西野 哲朗 新田 義彦 野下 浩平 箱崎 勝也 長谷川 武光 浜田 長晴 原嶋 秀次 原田 紀夫 坂東 忠秋 一松 信 平川 正人 平野 菅保 深海 悟 福田 晃 藤井 実 藤村 直美 船津 重宏 星野 聡 本位 真一 益田 隆司 松永 武史 松永 俊雄 真野 芳久 溝口 徹夫 南川 忠利 宮崎 聡 宮崎 悟 向井 国昭 村岡 洋一 毛利 友治 矢島 章夫 安信 千津子 山口 高平 山下 正秀 山本 裕之 横内 寛文 吉澤 将 吉村 一馬 吉村 忠 若菜 俊典 渡辺 英一 和田
---	---	--	---	---	--	---

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください.)

申 込 者					
A：会員／非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員 No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：Fax		
I：e-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと	
J：照会先／送本先	

「購入希望書籍」リスト			
書籍名／コード名	希望部数（冊）	単価（円）	金額（円）
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1--(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2--(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3--(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4--(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5--(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6--(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *
	(4) 現金持参
	(5) 現金書留
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと

N：送金名義人					
O-1：請求書	通	O-2：見積書	通	O-3：納品書	通
P：請求書記載名義					
Q：送金に関する照会先					

申込先	(社) 情報処理学会 図書係
〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F	
e-mail:tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534	
http://www.ipsj.or.jp/tosho.html からもお申し込みいただけます。	
*e-mail での申込み：各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。	
[例] A：(1), B：999999, C：情報太郎,... K-1-(a)：情報処理 Vol.38 No.3, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M：(1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株)××電気,...	

会員の皆様へのお知らせ・お願い

[口座自動振替登録者の方へ]

平成9年度会費および購読費を3月27日(木)に振替させていただきます。

預金残高をご確認いただき、振替額不足にならないようご注意ください。振替された場合には、通帳へ以下のように記載されます。

- (1) 銀行口座登録の方: 「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」「DF・ジョウショカイヒ」
- (2) 郵便局口座登録の方: 「会費 ジョウショガツカイ」

[新入会勧誘のお願い]

皆様のお近くに情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっておられる方で、未だ会員でない方がいらっしゃいましたら、ぜひ当学会をご紹介いただき入会を勧誘してください。

入会に関する詳しいご案内については、WWWのホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/>)、当月号巻末の「入会のおすすめ」をご参照ください。

電気、電子情報通信、照明、映像情報メディア(旧テレビジョン)各学会会員の方は、入会金(2,000円)が免除となります。この場合には在会証明書を入会申込書に添付してください。

[機関誌等の送付先変更について]

2月から5月にかけては、就職・進学・転勤・引越し等会員の異動があるため、宛先不明で機関誌が返戻されることが多くなります。また、来月には正会員の方々に通常総会の開催通知を発送いたしますので、送付先住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」(学会誌偶数月号巻末添付)等書面にて下記宛にご連絡ください(e-mail, Fax可)。毎月20日締切で、翌月号から変更します。

なお、停止期間中のバックナンバーは残部のある場合に限り送付いたします。あらかじめご了承ください。

また、住所不明等の理由から連絡がとれず会費が滞納となり、除名に至る場合もありますので、機関誌が届かないなどご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

[会員資格等について]

会員資格(3月末卒業予定の学生会員の方は、4月より正会員に変更)および論文誌購読は、毎年度(4月～翌年3月)自動継続となります。会員登録データを変更される場合には、その旨を会員番号明記の上、電子メール、「変更連絡届」をご利用いただき会員係に連絡願います。

退会を希望される方は、退会届(会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの)を書面等にて下記宛にご連絡ください(e-mail, Fax可)。なお、退会連絡受理後、会費および論文誌購読費未納の方には、別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所等に変更がある場合には併記してください。

[銀行振込をご利用の方へ]

会費、購読費、参加費等を銀行振込される場合には、必ず別途送金詳細(振込人氏名、会員番号、振込日、振込先銀行、金額、内訳)を事務局にご連絡ください(e-mail, Fax可)。事務局では銀行から入金先等の詳しいデータが通知されませんので、入金先確認に手間どっています。入金処理を正確かつ迅速に行うためにも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

照 会 先 (社)情報処理学会 会員係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

会費・購読費の預金口座（銀行・金庫）自動振替のご利用について

ご希望の方は、下記記載事項をご参照のうえ、お申し込みください。

現在、すでにご利用いただいている方で、口座を変更する際にも同様の手続きとなります。

なお、新入会時の入会金・会費・購読費にはご利用できませんが、翌年度会費・購読費から取扱いますので、入会手続きの際に同時にお申し込みください。

記

1. 対 象 会 員：個人会員（一括扱い会員は除く）
2. 対象金融機関：都市銀行，地方銀行，信託銀行，長期信用銀行，信用金庫，労働金庫（信用組合，農協は除きます）
 ＊郵便局の口座自動振替をご希望の方は、郵便局備付の「自動振込利用申込書」をご利用ください。
 記入法等詳細につきましては1月号（会告31頁）をご参照いただくか、下記照会先にお問い合わせください。
3. 口座振替費目：会費・論文誌購読費
4. 申 込 方 法：「預金口座振替依頼書」にご記入のうえ下記申込み先まで郵送してください。
5. 振 替 日：3月または7月の27日（休日の場合は翌営業日）に年額を振替えさせていただきます。
6. 依頼書の記入要領
 - (1) 口座名義人：預金通帳の名義人です（フリガナもご記入ください）。
 - (2) 銀行への：預金通帳とご照合のうえ、鮮明にご捺印ください。また、捺印を必ずご捺印ください。
お届 け 印
 - (3) 会 員 番 号：会員番号（学会誌送付用包装フィルムの宛名ラベルに記載）および会員氏名をご記入ください。
会 員 氏 名
 - (4) 指 定 口 座：金融機関名，支店名，店番号，種目（普通／当座），口座番号等は、必ず預金通帳にてご確認のうえ
ご記入ください。
7. 預金通帳の摘要欄：「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。
8. 口座振替のご案内：毎年1月上旬に振替の案内を発送いたします。口座自動振替を中止される場合はすみやかに下記照会先までご連絡ください。
9. 申込み／照会先：（社）情報処理学会 会員係
 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

預金口座振替依頼書

銀行
金庫 御中

平成 年 月 日

収納代行会社名：ダイヤモンドファクター株式会社
委託者名：社団法人 情報処理学会

料金等の種類：会費・購読費

委託者
番号

0 3 4 5 0

契約者
番号

0 1 5

ご指定口座（記入要領によりご記入ください）

(左つめで記入し、濁点、半濁点は1字分に抜ってください。なお、個人名義の場合、姓と名の間は1字空けてください)													
フリガナ												印	銀行へのお届け印
口座名義人													
会員番号		会員氏名											
指定 口座	銀行金庫										本店 支店		
	銀行	店番号	預金種目	口座番号									
			1. 普通 2. 当座										

振替日：収納企業の指定する日（銀行休業日の場合は翌営業日）

私は上記の料金等を預金口座振替の方法により収納代行会社ダイヤモンドファクター株式会社を通じて支払うこととしましたので、下記事項を承認のうえ上記口座からの振替を依頼します。

記

- ダイヤモンドファクター（株）より貴行（金庫・組合）に請求書が送付されたときは、振替日に私あてに通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえお支払いください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳・同払戻請求書の提出または小切手の提出はしません。
- 振替日において、請求書記載金額が預金口座から払い戻すことのできる金額をこえるときは、私に通知することなく請求書を返却されても差し支えありません。
- この預金口座振替契約は貴行（金庫・組合）が必要と認めた場合は私に通知することなく解約されても異議ありません。
- この預金口座振替についてかりに疑義が生じて、貴行（金庫・組合）の責によるものを除き、貴行（金庫・組合）にはご迷惑をかけません。

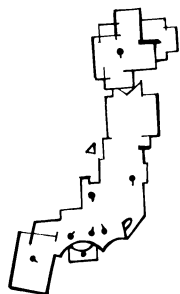
金融機関使用欄

口座振替依頼書に不備がございましたら下記へご返却ください。

返却理由	1. 預金取引なし	4. その他
	2. 記載事項等相違 (店名、預金種目、 口座番号、口座名義)	
	3. 印鑑相違	

照 合	受 付

支部だより



情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内
e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819 Fax(011)706-6819

東北支部 〒982 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学通信工学科内
e-mail:SK11802@mgw.shijokyo.or.jp Tel(022)229-1151(ext.368) Fax(022)228-0447

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517 Fax(052)204-4521

北陸支部 〒910 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部情報工学科小倉研究室内
e-mail:ipsjhokuriku@rook.fuis.fukui-u.ac.jp Tel(0776)27-8586 Fax(0776)27-8751

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付
e-mail:infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

中国支部 〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内
e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp Tel(0824)24-7663 Fax(0824)22-7195

四国支部 〒790-77 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部内
e-mail:yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963 Fax(089)927-9973

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内
e-mail:tani@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)475-5123 Fax(092)475-5185

* 各支部の最新情報は <http://www.ipsj.or.jp> からリンクしています。

平成9年度支部総会のご案内

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

支 部	日 時	会 場 / 講 演 会 等
北海道	5月8日(木) 16:30～17:10	北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)
	5月7～8日 9:00～17:00	情報処理北海道シンポジウム'97
	・特別講演 7日 13:00～14:30	「北海道の情報ネットワーク環境の展望(仮題)」佐藤 登氏(NTT)
	・一般講演 7～8日 9:00～17:00	
東 北	4月23日(水) 12:00～	東北大学工学部青葉会館
	・講演 14:40～16:10	東北大学工学部電気・情報館101大講義室
		「21世紀に向けての情報・通信」野口正一氏(情報処理学会会長)
東 海	5月23日(金) 14:00～14:30	愛知厚生年金会館(名古屋市千種区池下町2-63)
	・講演 15:00～16:30	「人物像の認識と生成」末永康仁氏(名大)
中 国	5月16日(金) 14:10～14:50	中国電力2階大会議場
	・講演 15:00～16:30	「(演題未定)」
四 国	5月9日(金) 14:30～15:00	NTT プラザ高松(高松市錦町2丁目8番35号)
	・講演 15:10～16:30	「感性情報科学におけるコンピュータと画像処理」服部哲郎氏(香川大学)
	・懇親会 17:00～19:00	
九 州	5月7日(水) 14:00～14:30	九州工業大学情報工学部 AV 講演室
	・特別講演 14:30～16:00	九州工業大学情報工学部1102講義室
		「計算機アーキテクチャの歩み」有田五次郎氏(九工大)
	・見学会 16:00～16:30	九州工業大学情報工学部

・関西、北陸支部は次号に掲載します。

東海支部 平成 8 年度東海支部奨励賞の表彰

平成 8 年度東海支部奨励賞は、電気関係学会東海支部連合大会における一般論文発表者 829 名（選考対象者 468 名）の中で、平成 9 年 1 月 31 日（金）に「奨励賞・電気学会優秀論文発表 B 賞」として表彰された 35 名のうち、情報処理学会所属の下記論文発表者 7 名に授与されました。（受賞者の所属は発表当時のもの）

論文発表 平成 8 年度東海支部大会（電気関係学会東海支部連合大会） 平成 8 年 10 月 14 日～15 日 豊田工業高等専門学校

（奨励賞）・教材構成モデルに基づいた誤り履歴による誤り原因推定手法

大沼宏行君（名古屋大学工学部 昭和 48 年 2 月 16 日生）

・ワークステーション・クラスタにおける並列処理のための自動並列コンパイラ

朝倉宏一君（名古屋大学工学部 昭和 45 年 2 月 4 日生）

・概念階層を形成する属性を持つ事例ベースの構造化の方法

山田正隆君（名古屋大学工学部 昭和 48 年 8 月 25 日生）

・リフレクティブな制約理論型言語 R X F におけるリフレクション述語について

大園忠親君（名古屋工業大学知能情報システム学科 昭和 47 年 7 月 30 日生）

・メッセージテストに基づく並行計算におけるオブジェクトの特徴化

木村正人君（名古屋大学工学部 昭和 47 年 7 月 10 日生）

・仮説の併合による ILP アルゴリズムの改良

犬塚信博君（名古屋工業大学知能情報システム学科 昭和 39 年 7 月 28 日生）

・仮想彫刻からの版画作成

水野慎士君（名古屋大学工学部 昭和 44 年 1 月 29 日生）

【国内会議】

◆第 60 回ロボット利用技術講習会

1. 平成 9 年 3 月 18 日（火）～19 日（水） 2. 日刊工業新聞社ホール（都内千代田区） 3. （社）日本ロボット工業会 Tel(03)3434-2919

◆講習会「感性情報を見る・活かす・遊ぶ」

1. 平成 9 年 3 月 25 日（火） 2. シャープ（株）（千葉市美浜区） 3. 宮本（富士ファコム制御開発内） Tel(0425)83-7948(ext.4131)

◆第 21 回ロボット・ビデオフェスティバル

1. 平成 9 年 3 月 28 日（金） 2. 日刊工業新聞社ホール（都内千代田区） 3. （社）日本ロボット工業会 Tel(03)3434-2919

◆第 34 回人工知能セミナー「インターネットにおける知的情報流通」

1. 平成 9 年 4 月 15 日（火） 2. （株）ジャストシステム東京支社（都内港区） 3. （社）人工知能学会 Tel(03)5261-3401

◆Advanced Image Seminar97

1. 平成 9 年 4 月 25 日（金） 2. 工学院大（都内新宿区） 3. 画像電子学会 Tel(03)5403-7571

◆第 8 回計測連合シンポジウム「先端計測 97」

1. 平成 9 年 5 月 20 日（火）～21 日（水） 2. 日本学術会議講堂（都内港区） 3. 大園（東大工学部） Tel(03)3812-2111(ext.6451) e-mail:ozono@ozono.pe.u-tokyo.ac.jp

◆講習会「光ハイテク応用の基礎と事例」

1. 平成 9 年 5 月 22 日（木）～23 日（金） 2. 東工大百年記念館（都内目黒区） 3. （社）日本機械学会 Tel(03)5360-3500

◆講習会「振動制御におけるアクチュエータ・センサ技術」

1. 平成 9 年 5 月 26 日（月） 2. 東工大百年記念館（都内目黒区） 3. （社）日本機械学会 Tel(03)5360-3500

◆チュートリアル講座 97「ディジタル PID 制御—基礎理論から実装化技術まで」

1. 平成 9 年 6 月 17 日（火）～18 日（水） 2. 住友電設大阪本社（大阪市西区）、東京本社（都内港区） 3. システム制御情報学会 Tel(075)751-6413

◆第 16 回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス

1. 平成 9 年 6 月 18 日（水）～19 日（木） 2. 東電技術開発センター（横浜市鶴見区） 3. 日本シミュレーション学会（（株）日鉄技術情報センター内）澤田 Tel(03)3239-4738

人材募集



●龍谷大学理工学部数理情報学科

- 募集人員 助教授 1 名（講師，教授もありえる）
 専門分野 解析学およびその周辺
 担当科目 線形代数，微積分，集合・位相・群，初等微分幾何，常微分方程式・力学系，関数解析，偏微分方程式などから数科目および大学院 1 科目（学部の担当科目は年度によってローテーションする）
 応募資格 着任時 40 歳未満で，博士の学位を有する方
 応募期間 平成 9 年 3 月 1 日から 5 月 31 日まで
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，公表論文の別刷（極端にならない範囲で多い方が望ましい），応募者の研究業績等について問合せのできる方の氏名および連絡先（3 名以内），着任後の研究計画と教育に対する抱負をまとめたもの
 送付先／照会先 〒 520-21 滋賀県大津市瀬田大江町 龍谷大学理工学部数理情報学科 松本和一郎
 「応募書類」と朱書き，書留
 Tel(0775)43-7510 Fax(0775)43-7524 e-mail:waichiro@rins.ryukoku.ac.jp

●平成 10 年度基礎科学特別研究員

- 募集人員 70 名程度
 専門分野 物理学，化学，生物科学，医科学，工学の各分野で理化学研究所で実施可能な研究
 応募資格 平成 10 年 4 月 1 日現在 35 歳未満で，博士号取得者またはこれと同等の能力を有すると認められる方，日本に永住権を有さない外国人にあっては上記に加え，応募日現在で日本国に在住し日本国の大学院博士課程を修了（見込み可）し，博士号を取得（見込み可）の方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 契約期間 連続して最長 3 年間を限度とし，毎年度所要の評価により契約更新
 募集締切 平成 9 年 5 月 30 日（必着）
 募集要項 応募要項の請求は下記 Fax または e-mail へ郵便番号，住所，氏名（漢字およびカタカナ）を記入し送信すること ＊要項代は無料です。
 送付先／照会先 〒 351-01 埼玉県和光市広沢 2-1 理化学研究所 研究業務部
 若手研究員制度推進室基礎科学特別研究員担当
 Tel(048)467-9268（直通） Fax(048)463-3687 e-mail:wakate@postman.riken.go.jp

●室蘭工業大学工学部情報工学科

募集人員 助手 1 名
 所 属 工学部情報工学科 (情報処理工学, 計測数理工学, 知識工学の各大講座のいずれかに所属)
 専門分野 情報工学の分野 (人工知能, ソフトウェア工学, アーキテクチャ, データベース, 情報ネットワーク, メディア情報工学など)
 応募資格 博士の学位を有し (見込み可), 年齢は 30 歳ぐらいまでの方
 着任時期 採用決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績書 (査読つき論文とその他の論文を分けて記載すること), 主要論文別刷 1 編, 研究計画書 (A4 用紙 1 枚程度), 推薦書
 応募締切 平成 9 年 6 月 30 日
 送付先/照会先 〒050 北海道室蘭市水元町 27-1 室蘭工業大学情報工学科 後藤典俊
 Tel(0143)47-3163 (直通) e-mail:kobo-admin@csse.muroran-it.ac.jp
 http://www.muroran-it.ac.jp/

【国内会議】(つづき)

◆第 237 回講習会「最新の精密位置決め技術」

1. 平成 9 年 6 月 27 日 (金) 2. 中大駿河台記念館 (都内千代田区) 3. (社) 精密工学会 Tel(03)3362-1979

◆第 6 回インテリジェント FA シンポジウム

1. 平成 9 年 7 月 15 日 (火) ~ 16 日 (水) 2. 梅田スカイビル会議室 (大阪市北区) 3. システム制御情報学会 Tel(075)751-6413

◆第 25 回可視化情報シンポジウム

1. 平成 9 年 7 月 17 日 (木) ~ 19 日 (土) 2. 工学院大 (都内新宿区) 3. (社) 可視化情報学会 Tel(03)5993-5020

◆鉄道技術連合シンポジウム (J-RAIL)

1. 平成 9 年 7 月 28 日 (月) ~ 30 日 (水) 2. 東京国際フォーラム (都内千代田区) 3. (社) 日本機械学会
Tel(03)5360-3500

◆日本医学物理学学会第 15 回研究発表会

1. 平成 9 年 7 月 31 日 (木) ~ 8 月 1 日 (金) 2. 科学技術庁研究交流センター (つくば市)
3. 事務局 (放射線医学総合研究所内) Tel(043)251-2111(ext.610)

◆第 15 回バイオメカニズムシンポジウム

1. 平成 9 年 8 月 18 日 (月) ~ 20 日 (水) 2. 日本放射線技師会教育センター (鈴鹿市) 3. 事務局 (鈴鹿医療科学技術大内)
渡辺, 森反, 関谷 Tel(0593)83-8991

◆平成 9 年電気学会電子・情報・システム部門大会

1. 平成 9 年 8 月 28 日 (木) ~ 29 日 (金) 2. 成蹊大 (武蔵野市) 3. (社) 電気学会 Tel(03)3221-7302

◆第 12 回生体・生理工学シンポジウム

1. 平成 9 年 9 月 4 日 (木) ~ 6 日 (土) 2. 玉川大 (町田市) 3. (社) 計測自動制御学会 Tel(03)3814-4121

◆教育工学関連学協会連合第 5 回全国大会

1. 平成 9 年 9 月 11 日 (木) ~ 13 日 (土) 2. 電通大 (調布市) 3. 教育工学関連学協会連合 清水 Tel(03)5734-3232

◆第 2 回知能メカトロニクスワークショップ

1. 平成 9 年 10 月 4 日 (土) ~ 5 日 (日) 2. 立命館大理工学部 (草津市) 3. 事務局 (立命館大理工学部石井研内)
Tel.(0775)61-2712

◆第 15 回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム研究発表会

1. 平成 9 年 10 月 21 日 (火) ~ 23 日 (木) 2. 関大 100 周年記念会館 (吹田市) 3. 事務局 (関大人間工学研究室内)
Tel(06)368-0927 e-mail:his97@iecs.kansai-u.ac.jp